

かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

#41 令和3年3月15日

「かわさき子ども元気プロジェクト」～卒業よみうりランド思い出ツアー～

川崎市長の福田紀彦です。久しぶりのコロナ情報ですけども、今日は少し楽しい話題をお伝えしたいと思います。

先週の火曜日から3月9日、10日、11日と3日間に分けて、川崎市立の小学校6年生、修学旅行の替わりのイベントを、よみうりランドさんを貸し切って行わせていただきました。昨年5月に、日光に毎年小学校6年生修学旅行に行っているのですが、それが残念ながら中止になってしまったことよって、6月から教育委員会の皆さんや色々な方達と御相談しながらこの企画を練ってきました。

小学校6年生12,300人いますので、毎日4,000人ずつ、子どもたちだけでというイベントになりました。もちろん感染対策をしっかりと行った上で、よみうりランドさん、それからJTBさん、色々な人たちの協力があってこのイベントを開催することができました。

各種メディアでも大きく取り上げられておりますけれども、ぜひ子どもたちの楽しんでいる姿を皆さんに御覧いただきたいと思います。

それでは御覧ください。

動画

=====

(川崎市立小杉小学校 佐藤校長)

<イベントの開催について>

6年生はあと1週間ほどで卒業するんですけども、修学旅行が中止になって、何とか最後子どもたち114校で大きなイベントがしたいということで、こういう大きなイベントではあるんですけど、感染対策も十分にやりながら今まで取り組んできました。

<感染対策について>

具体的に感染に関しては、4月からですね、本当に淡々と手洗いだとか、給食では一切お話をしないで食べるだとか、それから毎日検温するだとか、授業中のグループだとか、色々な積み重ねの中で、今日は子どもたち一見楽しそうにやってるんですけども、ちゃんとルールを守りながら活動しています。

大人側も、食べる場所も18か所設けていただいたり、バスで来るにしても、本当に分単位の配車で、できるだけ子どもたちがかみ合わないようなシフトを皆さんにさせていただいて、今日は楽しそうにやっていますけど、そういう裏の様子があるということもお伝えしたいと思います。

今日は本当に天気にも恵まれて素晴らしい一日なんですけども、ここに来る前、友達と話し合いをして、どれに乗ろうかだとか、それからグループですね、実は乗り物苦手な子がいたり好きな子もいるんですけど、そこで折り合いつけながら、どういうふうに戻ったらいいか本当に楽しそうに話していて、今日たくさんの方がスタッフで働いているので、子どもたちにはそういう人たちに御礼

をちゃんと言うように指導して、楽しみながら、マナーだとか、ありがとうという気持ちは人に伝えてほしいと思っています。

(子どもたち)

<何を買いましたか>

— 刀と、日光ショコラと、さる飴と、あとお茶碗。

— 湯葉と饅頭と、羊羹です。

— 小さい木刀と、饅頭と、合格鉛筆です。

<今日のイベントについて>

— 家族にお土産で、日光行けなかったの、家族にも今までの感謝をしてあげたいです。

— やっぱ今コロナウイルスで集まるのもままならない中ですけど、こうやって日光のものを買えるのはすごくいいことだと思います。午後からまた、ばんばん乗りたいと思います。

(教育委員会事務局 教育政策室 担当課長)

<感染対策について>

まずこのイベント3日間なんですけど、よみうりランドさんに協力いただきまして、3日間とも貸し切りとなっています。また子どもたちがよみうりランドに来る、また帰りなんですけど、公共交通機関を使わずに、貸し切りバスを利用してこちらに御来園いただいています。子どもたちなんですけども、このイベントに限らず毎日検温して健康チェックを行っています。また、マスク着用それから手指消毒を徹底いたしまして、今日のイベントに当たっても、昼食会場を時間と会場を分散して、消毒も徹底しながら、コロナ対策に万全を期しています。

(川崎市立小杉小学校 佐藤校長)

<子どもたちに伝えたいこと>

2つあって、1つは川崎市の小学校を卒業してよかったなと思ってほしい、それから中学になると、大変な日も今日みたいに楽しい日もあるので、色んな日がある中で友達大切に過ごしてほしいと思っています。

(子どもたち)

— 下級生の面倒とかあんまり見れなかったし、家族での旅行とかも全然なくなっちゃったけど、こういう機会を関わってくれた人たちが作ってくれて本当に思い出ができたし、6年生として、いつもとは違う意味で最高でした。

— すごい楽しかった。よみうりランドに行けることになってすごい嬉しかったし、ずっとよみうりランドの日をすごい待ってたから、めっちゃ嬉しいです。コロナは続いちゃうから、コロナでもできる行事とかをなるべくたくさんしたいです。

— (二人が声を揃えて)めちゃくちゃ楽しかったです！

=====

ご覧いただきましたように、子どもたち本当に楽しんだと思います。まず本当に良かったのと、この企画に、あるいは準備に関わってもらった大人たちもですね、子どもが楽しんでいる姿を見て逆に元気をもらえましたし、また協力していただいた方々全ての皆さんに心から感謝申し上げたいと思っています。

コロナ禍ではありますけども感染対策をしっかりして、工夫をすれば、こういうことができるんだという1つの事例だったと思います。これからも川崎市としては、コロナ禍だからといって全てを諦めるようなことはせず、できる対策、知恵を絞ってやるべきことはやっていくという姿勢で取り組んでいきたいというふうに思っています。

今、現状では、川崎市の感染状況、下火にはなってきておりますけれども、下げ止まっているという状況にあります。これから3月4月は、イベントが多い時期でありますので、街の中を見てまわっていても人通りが多くなってきているというのを、私も感じます。感染対策を引き続きしっかりやっていただくことが大切になってきますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います

また、私たち行政としてもワクチン接種に向けた準備というものを加速させています。コロナのワクチンが届いたら速やかに安全に摂取できる体制を今準備しています。まずは高齢者から、あるいは基礎疾患を持っておられる方、という風な形で順次進めてまいりますけども、まずワクチンをしっかり準備しますが感染対策を引き続き皆さんにご協力いただくことが大前提となりますので、どうか引き続きのご協力よろしくをお願いしたいと思います。

今日は以上です。